

2025 年 9 月 4 日

環境や環境活動に関心のある市民、団体、事業所等、関係各位

小金井市環境フォーラム 2025 環境座談会企画担当

小金井環境市民会議代表 田頭祐子

フォーラム 2025 環境座談会への協力、後援のお願い

環境座談会・環境カフェにご協力、ご後援いただきたく、ご依頼申し上げます。企画の案内等に協力・後援団体として団体名を記載させていただきたく存じます。どうぞご賛同いただけますようお願い申し上げます。皆さまにおかれましては、ご多忙とは存じますが、ぜひフォーラム会場にもお運び頂ければ幸いです。

趣旨：

小金井市の主催事業である環境フォーラムは長年、市民（小金井市環境市民会議等）と行政、NPO、大学等との協働で実施されてきました。例年は市の環境賞の表彰式はじめ、環境市民会議会員団体の活動紹介パネルの展示や、行政や東京ガスなどの事業者の環境活動の取組紹介、環境映画上映、間伐材による積み木遊びコーナーやワークショップ、また野川の放置ごみ問題や市民による気候危機車座トークなど、多彩な取り組みが展開されてきました。

昨年からは企画段階からの協働がスタートし、定期的なミーティングで今年は環境座談会の開催が決まりました。毎回、各団体による豊かな環境活動の報告展示があります。しかし気候危機が叫ばれ、地域でも緑地の減少など環境課題は深刻です。子どもたちにどうしたら豊かな自然環境を手渡し、魅力ある小金井にしていけるか、ゆるく語り合う場を設けたいと思います。「環境学習、環境教育、環境と子どもの育ち」などをキーワードに、多様な地域主体、地域資源がつながりあい結びあう環境ネットワークを広げたいと願います。

環境座談会：「子どもと学び、楽しむ小金井の暮らし～教えて！あなたの好きな場所～」

話題提供者は依頼または公募します。各団体数分程度で発表していただきます。子どもや若者たちも含めて、参加者の体験や意見を自由に語りあっていただけるように進めたいです。

進行：田頭祐子（小金井環境市民会議代表）、木俣美樹男（環境市民会議会員）

事例報告の団体（予定）：ゼロエミッション小金井、玉川上水の自然を守る会、NPO こがねい子ども遊パーク、ハケの自然と文化を守る会、たんぼの時間、NPO 自然文化誌研究会（東京学芸大学探検部）ほか。数分程度の活動発表後に、参加者それぞれの体験や協力について話し合います。

環境カフェ：自由な対話で交流を広げます。



～教えてあなたの好きな場所

小金井環境市民会議 企画 **現在案25.9.5**

日時：11月15日（土）

会場：宮地楽器ホール： 小ホール

○環境座談会 15:00～17:00

気候変動の今、自然や農林業、子どもたちの教育の危機的な課題を解決するために、具体的方策や希望につながる話しあう。子どもたちと一緒に、美しい小金井の街の好きな場所、大切に守りたい場所について紹介し合い、共感の和を広げる。子どもの未来へ向けて、環境学習・教育、環境保全、今の生き方、暮らし方などを語り合う。

環境学習や環境保全の活動や、子どもと一緒に活動している団体、市民に広く参加を呼び掛ける。環境市民会議の団体等に活動の紹介と子どもと共に創るもっと魅力ある小金井へ向けたイメージなどを述べてもらう。これからの環境ネットワーク創りの共有の機会とする。

活動紹介：NPO自然文化誌研究会、小金井玉川上水の自然を守る会、ほか募集中

進め方：活動紹介などの後、全員でのフリートークし、まとめの発表をする。

○環境カフェ 17:20～19:00

さらに交流を深めるように、お茶会を続ける。

協力団体：NPO自然文化誌研究会、グリーンネックレスなど、お願い中

後援団体：東京学芸大学環境教育研究センターほか、お願い中

2025 年 9 月 7 日

様

小金井環境フォーラム 環境座談会・環境カフェ連絡担当
小金井環境市民会議会員 木俣美樹男

標記のご依頼につき、ご検討いただき、ご承認いただければ幸甚に存じます。なお、私は環境市民会議代表から事務連絡を委任されました。ご質問等ございましたら、ご連絡ください。よろしくお願いいたします。

連絡先：メール kimatami@u-gakugei.ac.jp

ご参考として略歴を記します。

木俣美樹男 東京学芸大学名誉教授

民族植物学および環境学習原論専攻。雑穀の起原と伝播に関する国内外のフィールド調査、実験研究、環境学習の実践と理論研究を行ってきた。

静岡大学理学部生物学科卒業、東京教育大学大学院農学研究科修了、農学博士（京都大学）。

東京学芸大学農場（現・環境教育研究センター）を40年間維持管理、学部環境教育専攻、大学院修士課程環境教育コース、連合大学院博士課程教育構造論講座（環境教育学研究）を担当し、自然文化誌研究会、雑穀研究会、日本環境教育学会、環境教育研究センターなどを創業した。環境教育推進法を提案し、議員立法ができた。

他に、農科大学（インド、バンガロール）、ケント大学・王立植物園キュー（イギリス）、ラジャバト・プラナコン大学（タイ、バンコック）ほか、国立遺伝学研究所、国立民族学博物館、東京外国語大学アジア・アフリカ言語研究所などで、研修員・共同研究員・客員教授・フェローを行った。

共著に『環境教育概論』『持続可能な社会のための環境学習-知恵の輪を探して』、監修に『こどもかんきょう絵じてん』、訳書に『民族植物学』などのほか、専門書・論文は多数ある。